

任意団体 ユースラムサールジャパン

国連 ESD・GAP（あいち・なごや宣言）をラムサール条約湿地をフィールドに普及啓発、実践するユース世代による<ユースラムサール>活動

活動掲載ホームページのページビュー数	28,966ビュー
助成活動がメディアに掲載された回数	8回
活動の全体目標に対する達成度	80%



藤前干潟での「干潟まつり」実施中

◆成果と工夫したポイント

●成果

- ・湿地で活動するユースを対象にした「ユースラムサール交流会」を2回実施。のべ74名が参加。
- ・交流会参加者が、得た成果を各自の活動湿地に伝えた。5箇所の湿地で、およそ1,400名の人に伝えられた。

●工夫

交流会の成果をより広めるために、交流会参加者が、得た成果を自らの活動湿地で伝えられるようにした。

課題

子どもの頃より湿地で活動してきたユースには、学んできたことを活かせる活動の場が少ない。普及啓発プログラムを立案し、運営していく力があるのに、活かせる場がない。

目標

日本各地の湿地で ESD・GAP に即した活動が行われ、各地でユースを対象にした湿地の環境保全活動が行われるようになる。GAP について知識を持ち、GAP を普及できる地域のリーダーを育てる。

活動内容

- ・名古屋市の藤前干潟において「干潟祭り」を実施し、参加した一般参加者に ESD・GAP や湿地の重要性を伝える。
- ・湿地や環境教育の専門家による講義を聞き、湿地の問題点を見つけ改善方法を考える。得た成果を、自らの活動湿地で大人や子どもたちに報告する。
- ・環境イベントに出展し、ESD・GAP に則った湿地保全について、来場者に普及・啓発を行う。
- ・普及、啓発のための「リーフレット」を作成し、配布する。

達成できなかったこと

参加を見込んでいた、いくつかの湿地からの参加がなかった。もう少し多くの湿地からの参加者が欲しかった。あともう1回、交流会を実施できるとよかった。

今後の展望

湿地保全の実践者に取材をし、成果を普及・啓発するユースラムサール・リサーチ・プロジェクトを実施する。



第1回交流会開催の様子を伝える新聞記事